



駒二☆ほけん通信

2020年度No2

 9月9日は救急の日 子どもに多いケガへの応急手当 

子どもは転んでひざをすりむいたり、友だちとぶつかったりしてケガをすることがよくあります。いざという時、応急手当などの対応ができるようにしておきましょう。

<すり傷・切り傷>



* 応急手当 *

- ・傷口を流水でよく洗い流します。
- ・傷を清潔なガーゼなどで押さえて止血します。
- ・傷を市販の傷パットなどで覆い保護します。

こんな時は病院へ

⇒砂利などが多くついて取れない時、鋭利なもので切った時、出血が続く時、傷口が深く大きい時、化膿した時など

<爪や爪周囲のけが>



* 応急手当 *

- ・傷口を流水でよく洗い流します。
 - ・清潔なガーゼなど傷を覆います。
- (爪がはがれた時は、そのまま爪を元に戻します)

こんなときは病院へ

⇒爪がはがれて痛むとき、爪が大きく割れて出血した時、化膿した時など

<打撲>



* チェックする *

- ・意識、呼吸はあるか。
- ・何でぶつけたか。
- ・どこからおちたか。
- ・どこを打撲したか。

* 応急手当 *

- ・傷がある場合は手当します。(出血がある時は止血します)
- ・打撲箇所を冷やします。
- ・楽な姿勢で休ませる。

こんなときは病院へ

⇒ぐったりしている時、吐く時、出血が多い時、目や鼻を打った時、激しく咳込んでいる時、腫れがひどい時、動物に噛まれた時など。

迷った時はすぐに救急車を呼びましょう

